## 様式1

# 第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 02010010

					<b>No.</b> 02010010
	目標 5 連帯感を高める協働のまち・雄武∼協働によるまちづくりの推進~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>		間外の計画期間を有する場合のみ記載
	施策 20 町民主体のまちづくりの推進	事業優先度	Α	令和5年度以降 事業継続	
単位	施策 2 まちづくり情報の共有化				
車	<mark>後名</mark> 住民向け財政情報開示事業	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
		見直し年度			
	期間 平成30年度~令和4年度	担 当 課	2 財務企画課		
	<u>主体</u> 雄武町	関 係 課	1 総務課		
	指標 住民向け財政情報(予算書・決算書)の作成、配布	21	#N/A		
		ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
	参加 有 開示図書の作成に住民参加はないが、住民への提供手段として町広報	関係例規・法令名	無		
田丁臣	協働 <sup>有</sup>  発行にあわせて自治会組織による配布を行う。	関係個別計画名	無		
	全体計画 平成30年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	事業内容事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
	777	, ,,,	7,11	. //	, ,,, , , ,
	〇住民向け予算書の作成、配布 住民向け予算書の作成、配布	住民向け予算書の作成、配布	住民向け予算書の作成、配布	住民向け予算書の作成、配布	住民向け予算書の作成、配布
	A4版 2, 250部作成 A4版 2, 250部作成	A4版 2, 250部作成	A4版 2, 250部作成	A4版 2, 250部作成	A4版 2, 250部作成
計		た見点は決策書の作成 配左	た見点は決算書の作式 配左	住民点は決策事の佐ば 配左	た足点は沈笠妻の佐は 配左
	〇住民向け決算書の作成、配布 A4版 2.250部作成 A4版 2.250部作成	住民向け決算書の作成、配布  A4版 2.250部作成	住民向け決算書の作成、配布 A4版 2.250部作成	住民向け決算書の作成、配布 A4版 2.250部作成	住民向け決算書の作成、配布 A4版 2.250部作成
画	A4NX 2, 250 apt f px	A4版 2, 250部形成	A4版 2, 250 向作成	A4版 2, 250 m F 成	A4版 2, 250部F成
Щ					
内					
容					
	事業費(千円) 500 100	100	100	100	100
計	国庫支出金	100	100	100	100
画事業費	対 道 支 川 全 0				
事	源 地 古 唐				
表	内 その他 0				
貝	一般財源 500 100	100	100	100	100
-	事 業 費 (千円) 200 100	100	0	0	0
美	国庫支出金 0				
領車	道支出金 0				
実績事業費					
費	歌 <u>その他</u> <b>0</b>				
	特定財源の名称 (実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	Oわかりやすい予算書	〇わかりやすい予算書			
	·A4版 11ページ	・A4版 11ページ			
		5月全戸配布			
即		〇わかりやすい決算書			
関連	·A4版 8ページ	・A4版 8ページ			
事		11月全戸配布	197 - Fr - Fr - Hr - Fr / Fr / Fr   Fr   Fr   Fr   Fr   Fr	No. of the refer to the State from 6 I. FEI	\\$\/ =
項	※事務事業評価結果	701 3 323 3 MENT IMMINISTE	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持		A==+/= # + + # + .	
	第5期計画からの継続 年度目標値 全戸配布(予算書・決算書)	全戸配布(予算書·決算書)	全戸配布(予算書・決算書)	全戸配布(予算書・決算書)	全戸配布(予算書・決算書)
	(継続有り) 年度達成率 100%	100%	0%	0%	
	後期計画への継続 全体達成率 20%	40%	40%	40%	40%
	(継続有り) 備考欄				

<del>李杲右</del>   正式问:7   知以	古学ク	住民向け財政情報閱示事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	横田 和幸
	争未有		評価者 作成者 職氏名	財政係長	渡部 憲一

様式1 令和元年度実施 令和2年度評価

令和元 年度

2.250 部

2.250 部

100.0 %

令和元 年度

叶耳顿体(二次额体)

誰、何が(対象)		町民			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	全戸配布
<b>抱える課題やニーズ</b> 町民が町の財政情報を			知る機会が少なく、その内容もわかりにくいことが多い。		標) 指標(指標計算式/解説)	
どのような状態に 指したのか(意図		より多くの町民に財政情	報を広め、町の行財政に興味や関	全戸配布	達	
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果=目的				まちづくりの推進を目指す。		美
		わかりやすい予算書		「わかりやすい予算書」を作成し、	町広報5月号の発送と併せ全戸配	布した。
内容(どのような 行ったか)	手段で何を	わかりやすい決算書		「わかりやすい決算書」を作成し、	町広報11月号の発送と併せ全戸	配布した。
■事務事業の評 (1)事務事業の』	<b>必要性</b> (町民二		、て妥当か、町が担う必要があるか や見直しによる対応可能性)	。当該事業を実施しない場合	■ <b>総合評価【A~D】</b> A:計画通り事業が進んでいる B:ほぼ計画どおりに進んでい	
必要		義務的なもの		めてもらうために、積極的に財政 図る必要がある。	C: 当初の計画を達成できてい D:事業効果が表れていない。	ない。事業
必要/概ね必要 /課題あり		全部一部	INTREMINIO CON PIECEN PIECE		自己評価(一次評価)	評価会
(2)事務事業の	<b>有効性</b> (期待す	る効果が得られたか)			行財政に対する理解と関心	
有効	✓	目標値の達成状況 達成	予算と決算の情報をわかりやすく の共有が図られた。	公表したことで、町の財政情報	を持ってもらうため、財政情 報をわかりやすく町民へ公表	
有効/概ね有効 /課題あり		ほぼ達成 下回る			することができた。	
(3)事務事業の 効率的	<u>.</u>	<u> 見合った効果が得られた</u> 判断の理由 事業費抑制  人員削減	<u>か、計画上のコストを下げる工夫</u> 「わかりやすい予算書」及び「わか し、町広報紙の発送と併せ全戸画	りやすい決算書」は自前で作成	今後の展開方向	
効率的/概ね効 率的/課題あり		内負削減   時間短縮・作業軽減   その他			(Action)	
(4)事務事業の	公平性				継続/現状維持	
公平	<u>.</u>	判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない	町広報紙とともに全戸配布したこ えられるため、公平と判断できる。	とで、情報の共有が図られたと考。	行財政に対する理解と関心 を町民に持ってもらうため、 毎年わかりやすく財政情報を 公表し、計画どおり事業を継	
公平/概ね公平 /公平でない		受益が一部に偏る その他			続する必要がある。	
■その他特記事	 - <b>項</b> (アンケート	調査など外部評価を受け	た場合は、その旨記入)		※展開方向の区分 〇継続/現状維持又は拡充 〇終了 〇休止 〇廃	

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

### ■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

目 標 年 度

目 標 値

達 成 度

目 標 年 度

目 標 値 達 成 度

目標値及び実績値

- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休·廃止の検討が必要等 自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価)

	丁川大阪丁川(一久丁川)	
Α		
行財政に対する理解と関心を持ってもらうため、財政情		
報をわかりやすく町民へ公表 することができた。		
今後の展開方向 (Action)		
継続/現状維持		
行財政に対する理解と関心 を町民に持ってもらうため、		
毎年わかりやすく財政情報を 公表し、計画どおり事業を継		
続する必要がある。		
※展開方向の区分		

- 〇継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 〇終了 〇休止 〇廃止

## 様式1

# 第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 02010020

						<b>No.</b> 02010020
政第	策目標 5 <mark>連帯感を高める協働のまち・雄武~協</mark>	働によるまちづくりの推進~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期	間外の計画期間を有する場合のみ記載
	本施策 22 <mark>効果的・効率的な行政経営</mark> 位施策 4 財政の安定化		事業優先度	В	令和5年度以降 制度実施·PR	
	業名 ふるさと応援事業		政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
			見直し年度	7 1 7 1 A		
	業期間 平成30年度~令和4年度		担 当 課	2 財務企画課		
	業主体 雄武町 業指標 寄附件数、寄附金額		関 係 課	9 <u>産業振興課</u> #N/A		
	業 <u>目標</u> 各年度目標		ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
	早 参加		関係例規・法令名		L 施行規則、ふるさと応援事業実施要綱。	、寄附に対する感謝状贈呈に関する規程
	民協働		関係個別計画名	無	がいけんが、ひょうこうがは、テネスがという。	( 同門10月 ) (   四周   八周王   四月   一月
	全 体 計 画	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	事 業 内 容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
	雄武町の応援のため寄附くださる方に町のPR	制度実施·広報(PR)	制度実施·広報(PR)	制度実施·広報(PR)	制度実施·広報(PR)	制度実施·広報(PR)
	も兼ねた地場産品を返礼し、寄附金を活かした					
計	自主財源の確保に努めながら、魅力ある町づくり					
	推進のため、事業を実施する。					
画						
内						
容						
4						
計	事業費(千円) 165,00	,	32,500	34,200	35,400	36,500
		0				
事	道支出金 地 方 債	0				
画事業費	内 そ の 他 165.00	8 26.408	32.500	34.200	35.400	36.500
費	一般財源	0 20,400	32,300	34,200	35,400	30,300
	事業費(千円) 69.64	9 26,982	42,667	0	0	0
実	国庫支出金	0	42,007			
績	道支出金	0				
事	源内地方值	0				
実績事業費	訳 その他 69,64	9 26,982	42,667			
只	一般財源	0				
	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	ふるさと応援寄附金	新制度実施·広報(PR)	制度実施·広報(PR)			
		寄附件数 3,145件	寄附件数 6,714件			
		寄附金額 50,027千円	寄附金額 83,896千円			
即	【評価・実績】					
関連						
事		\\$\/ =\r \text{7}\r = \r \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	\\\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	V = 75 = ** = 17 (m (d) = 1	18/	V = 75 = W = 75 / T (+ H
項		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A 一 継続	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	第5期計画からの継続 年度目標値	A一継続/現状維持	A一継続/拡充 客附件数3,200件、客附全額52,000千円	寄附件数3,300件、寄附金額53,000千円	 	安附件数3.500件 安附全額57.000千円
	(継続有り) 年度 章成率	奇阶件数2,600件、奇阶壶额43,000千円 102%	奇刚件数3,200件、奇刚金额52,000十円 131%	6 所件数3,300件、6 所並額53,000千円 0%	奇阶件数3,400件、奇阶壶额55,000十円 0%	
	後期計画への継続全体達成率	16%		42%	42%	
	(継続有り) 備考欄	10%	42%	42/0	42%	42/0
	\mu_nyu ロ ノ/ VIII *ラ イIII			1		

事業名	ふるさと応援事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	横田 和幸
	かることに 放手木	評価者 作成者 職氏名	財政係長	渡部 憲一

様式1 令和元年度実施 令和2年度評価

事系	1	Ė	#	(	D	目的·内容(Pla	n:	D	o)	i
-									_	

誰、何が(対象)	雄武町を応援してくださる方(寄附者)、町民		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指 零附金を活かした自主財源の確保			
抱える課題やニーズ	①町政運営のための財源を交付税や補助金に依存してい ②地場産品の提供や宣伝・PRする機会が限られている。	\る。	指標(指標計算式/解説)	目桐目		及び実績値 令和元年度 3,200 件
どのような状態になることを目指したのか(意図)	①寄附額の増加を目指すことで自主財源の確保が期待で ②寄附者へ地場産品を返礼し町の魅力を伝える。	: : ප්රි	- 寄附件数 - ②	達目板	積 値 成 度 平 度	6,714 件 209.8 % 令和元 年度
その結果、どのような成果を 実現したいか ※成果=目的	①自主財源の確保に繋がり、魅力ある町づくりが推進でき ②地場産品の消費や流通に期待できる。	₹ <b>る</b> 。	寄附金額	実達	標値	52,000 千円 83,896 千円 161.3 %
	返礼品内容の見直し	返礼品の地場産品の品目などを見直し、パンフレットやふるさと納税サイトを活用して寄附件数と寄附金の増加に努めた。				
内容(どのような手段で何を 行ったか)	ふるさと納税サイトの活用	ふるさと納税サイトの大手である	る「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」を活用した寄附者の獲得に努めた。			努めた。

### ■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支援。既友事業との機能重複の目点してとる対応可能性)

	の文庫	、风行事未足以液形主液	で元直してよる対心可能性/
必要		義務的なもの	寄附者へ地場産品を返礼し町の魅力を伝えるとともに、寄附金を 活かした財源を確保しながら、「ふるさと納税」の目的達成のため、
必要/概ね必要		全部	事業の実施が必要である。
/課題あり		一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	寄附者へ地場産品を返礼し町の魅力を伝え、自主財源の確保を
行刈	✓ <mark>達成</mark>	図ることができた。
有効/概ね有効	□ <mark>ほぼ達成</mark>	
/課題あり	□ 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

	判断の理由	返礼品の内容を見直し、ふるさと納税サイトの「ふるさとチョイス」
効率的	□ 事業費抑制	「楽天ふるさと納税」を活用して、寄附者と寄附金の増加を図ること
	<mark>□ 人員削減</mark>	ができた。
効率的/概ね効	□ <mark>時間短縮·作業軽減</mark>	
率的/課題あり	✓ その他	

(4) 事務事業の公平性

(1/ + 1/) + X V/	# 1 II				
	判断の理由	寄附金を活かした自主財源の確保が期待でき、魅力ある町づくり			
公平	□ 受益者負担がある	の推進に繋がることから、公平と判断できる。			
	☑ <mark>受益者負担がない</mark>				
公平/概ね公平	□ 受益が一部に偏る				
/公平でない					

<b>■その他特記事項</b> (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)	

### ■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休·廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
Α	A	
3割返礼を遵守しつつ寄附申 込の維持や増加のため、ふ るさと納税サイトを活用し、寄 附申込の増加を図ることがで きた。	同左	

# 今後の展開方向 (Action)

継続/拡充	継続/拡充	
今後も自主財源確保のため、制度や類似自治体の動向に注視しながら、事業を進めていくとともに、新規開拓のため新たなふるさと納税サイトの利用も進めていく。	同左	

- ※展開方向の区分
- 〇継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 〇終了 〇休止 〇廃止

## 様式1

# 第 6 期 雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

**No.** 02010010

Th	- 66° E	□標 5 連帯感を高める	7 + D = 1 + D = 1 + D = 1 + D = 1	にトスナナベノリの世生。	A 31 E A	4 bn. 4=1	【人生計画中容】《金期字集計画期	
	., , . ,	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		かによるまちづくりの推進~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【生体計画內容】	間外の計画期間を有する場合のみ記載
		極策 4 財政の安定化	1な11以柱呂		事 業 優 先 度	Α		
28	: 坐	名 公会計整備事業			政 策 事 務 分 類	3 単独自治事務(その他)		
			<i>-</i>		見直し年度			
		明問 平成30年度~令和4 主体 雄武町	<u> </u>		担当課	2 <mark>財務企画課</mark>   3 税財管理課		
		上体 (雄武町 <mark>皆標 公会計の整備</mark>			関 係 課	3 祝知官理課 #N/A		
		■標 対務書類の作成及び	·····································		ハート・/ ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
		is the			関係例規・法令名			23総務大臣通知)
田丁	民族	協働無			関係個別計画名	無		
		全 体	計 画	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
_		事 業	内 容	事業内容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
言	<b>1</b>  -	統一的な基準による財務 行政コスト計算書、純資産 計算書)を作成し、町民等に	変動計算書、資金収支 に公表する。	財務書類4表作成 ・一般会計等財務書類 ・全体財務書類 ・連結財務書類 連結財務書類 連結財務書類作成支援業務 町民等への公表	財務書類4表作成 ・一般会計等財務書類 ・全体財務書類 ・連結財務書類 公会計アドバイザリー業務 町民等への公表			
Þ								
~		事業費(千円)	7,122	4,482	660	660	660	660
音		財道支出金	0					
正 事 業 費	F	恒 人 田 亚	0					
業	482	内。见力恒	0					
費	Ť	一般財源	7.122	4.482	660	660	660	660
<u> </u>		事業費(千円)	5,120	4.460		0		0
実 緩 事	5	財富庫支出金	0	·				
事	Į.	1	0					
業	ž.	内见力恒	0					
費	Ť	一般財源	5.120	4.460	660			
		特定財源の名称	5,120	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
関連事			【評 価・実 績】	財務書類4表作成 ·一般会計等財務書類 ·全体財務書類 ·連結財務書類 連結財務書類 連結財務書類	財務書類4表作成 ·一般会計等財務書類 ·全体財務書類 ·連結財務書類 連結財務書類 連結財務書類			
耳				※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
		毎に押計画からの外体		B-継続/現状維持	Bー継続/現状維持		以农事软 a 主 佐 d	
		第5期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 年度達成率	財務書類4表作成、住民等への公表 100%	財務書類4表作成、住民等への公表 100%	財務書類4表作成、住民等への公表 0%	財務書類4表作成、住民等への公表 0%	財務書類4表作成、住氏寺への公表 0%
	l	後期計画への継続	全体達成率	63%	72%	72%	72%	72%
		(継続無し)	備考欄	30%	72%		7270	, = 0

事業名	<b>公会計整備事業</b>	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	横田 和幸
争未行	公会計整備事業	評価者 作成者 職氏名	財政係長	渡部 憲一

様式1 令和元年度実施 令和2年度評価

町長評価(三次評価)

■事務事業の	日的: 内密	(Plan - Do)
<b>= + 1 1 + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>		(FIAII-DU)

誰、何が(対象)	可氏・譲去・行以 		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	公会計整備	
抱える課題やニーズ	国が示す「統一的な基準」では、市町村とその関連団体を 施主体として捉え、資産とその財源とされた負債・純資産で ストや資金収支の状況などを総合的に明らかにすることが	の状況、行政サーヒスに要したコ	標) 指標(指標計算式/解説) ①	目標値及目標値及	び 実 積 値
	一般会計等財務書類に地方公営事業会計を加えた全体財 た連結財務書類を作成し、町民等へ公表することで、財政 運営に対する理解と関心を高める。		財務書類の作成	実績値違成度目標年度	1 式 100.0 % 令和元 年度
	町民の行財政運営に対する理解と関心を高めるとともに、資産・債務管理や予算編成、行政評価等に有効活用し、財政の効率化・適正化を図る。		町民等への公表	目標値       実績値       達成度	1 回 0 回 0.0 %
	公会計アドバイザリー委託業務	財務会計システムの導入元であ 書類作成に係るアドバイザリー業	り、財務書類の作成支援にノウハウ 務を委託した。	がある株式会社ぎょうせい北海道	重支社へ新地方公会計制度財務
内容(どのような手段で何を 行ったか)	財務書類の作成			算書、資金収支計算書)、全体財務書 長、行政コスト計算書、資金収支計算	類4表(貸借対照表、行政コスト計算書)を専門的なアドバイスを受けなが

### ■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支援。既友事業との機能重複の目点してとる対応可能性)

		、风行事未已以成形主孩	で元直してよる対心 引化注/
必要	V		厳しい財政状況の中、町財政の透明性を高め、町民等に対する説 明責任をより適切に果たすためには、わかりやすく詳細な財政情
必要/概ね必要	>	全部	報を公表する必要がある。
/課題あり		一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	国が示す「統一的な基準」に沿った財務書類の整備について、専
例がおおが	□ 達成	門業者へアドバイザリー業務を委託し進めることができたが、町民
有効/概ね有効	✓ <mark>ほぼ達成</mark>	等への公表には至らなかった。
/課題あり	□□□る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

	判断の理	!由	専門業者へ財務書類のアドバイザリー業務を委託したことで、専
効率的	□ 事業費担	印制	門的なアドバイスを得られたことから、事務作業の軽減を図ること
	□ 人員削減	戓	ができた。
効率的/概ね効	✓ 時間短網	宿∙作業軽減	
率的/課題あり			

(4) 事務事業の公平性

	判断の理由	作成した財務書類については、今後、町民等に公表することから、
公平	□ 受益者負担がある	公平と判断できる。
	☑ 受益者負担がない	
公平/概ね公平	□  受益が一部に偏る	
/公平でない	□ その他	

### ■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

### ■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等 自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価)

В	
統一的な基準に沿った財務書類の作成を行ったが、町民等への公表には至っていなく、年度内に達成できていないことから、次年度に公表を行う必要がある。	
今後の展開方向(Action)	
(ACLIOII)	
継続/現状維持	

- ※展開方向の区分
- 〇継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 〇終了 〇休止 〇廃止